

2025 年度 小論文テーマ

我々が生きる 21 世紀は「多様性の時代」と言える。様々な面で「個性」を尊重する文化が本邦にも根付いてきており、当院もバリアフリー化を促進するべく改築工事を行ったり、院内表記においても性的マイノリティにも配慮した記載を心掛けるなどして、札幌市 LGBT フレンドリー企業に登録されている。

また実際に働く職員の世代や価値観にも多様性がある。医療人として必要とされるプロフェッショナリズム、徳洲会の職員として求められる立ち振る舞いと個人の価値観が対立する可能性もある。このような矛盾・対立や両価性との折り合いをつけていくことは、諸君らが成長する上で必要不可欠な過程だろうと考えられる。

それでは、諸君らは自分のことをどのように認識しているだろうか？また、自分が成長するためにどのような努力をしてきただろうか？他者と対立意見が生じた場合、どのように向き合ってきただろうか？これを機に振り返ってみたい。

これまで自分が「①考え方や価値観が異なる他者と、どのように折り合いをつけてきたか」について言及した上で「②社会人として意見の対立する同僚とどのように付き合っていくか」について述べよ。

尚、800 文字以内とし、文字数超過は採点対象外とする。その他、誤字脱字などは減点対象とするので、気を付けて記載すること。尚、小論文は直筆で記入すること。